



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL https://www.parkercorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,675	△28.7	78	△88.7	40	△94.7	△119	ー
2020年3月期第1四半期	12,173	△1.9	692	△32.3	764	△35.6	504	△38.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △433百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 387百万円 (83.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△4.67	ー
2020年3月期第1四半期	19.61	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	48,413	32,084	61.2
2020年3月期	51,246	32,787	59.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 29,621百万円 2020年3月期 30,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	6.50	ー	6.50	13.00
2021年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年3月期（予想）	ー	3.00	ー	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△17.3	1,500	△56.2	1,700	△52.5	1,000	△60.2	39.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	26,801,452株	2020年3月期	26,801,452株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,194,243株	2020年3月期	1,116,143株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	25,626,734株	2020年3月期1Q	25,713,127株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、緊急事態宣言下の自粛ムードの高まりを背景として国内の消費活動は大きく冷え込んだことに加え、企業収益の減少や雇用・所得の悪化から先行き不透明感が増幅する状況であります。世界経済におきましても、一部では徐々に経済活動が再開されているものの、感染拡大防止に伴う外出自粛や移動制限による経済活動の停滞から、先行きが極めて不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、従業員の感染予防対策に努めると共に、在宅勤務やリモート会議、サテライトオフィスを活用しながら事業継続活動に取組み、制限された状況下で営業活動を行ってまいりました。またこれらの変化や需要を的確に捉え、持続的な成長を続けるべく、将来を見据えた幅広い視野を持ち、高い付加価値が込められた製品を作ること、そのような付加価値を創出する「コト作り」に注力した製品開発に繋げ、更に高いレベルでの技術サービスの提供とグローバル化を推進し、顧客の信頼を獲得するよう努めてまいりましたが、当社グループの主力の取引先である自動車業界や電気・電子部品業界におきましても新型コロナウイルスの影響を大きく受け、世界各地での経済活動停止による急激な販売減少と工場操業の停止の影響により、前年同期比で大きく減少しました。

この結果、当社グループの第1四半期の連結業績は、売上高は8,675百万円（前年同期比28.7%減）、営業利益は78百万円（同88.7%減）、経常利益は40百万円（同94.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は119百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は504百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

主力の国内外向け自動車業界向け設備及び製粉機械の販売は、コロナ禍で営業活動が制限されておりましたが、前期受注済みの自動車業界向け設備の検収が完了したことにより、増収増益となりました。

当部門の売上高は696百万円（同14.3%増）、営業利益は37百万円（前年同期の営業損失は18百万円）となりました。

・化成品部門

自動車業界向けの製造販売は、国内における主要自動車メーカーの需要の著しい鈍化により、海外では感染拡大防止に伴う外出自粛や移動制限による経済活動の停滞の影響により減収減益となりました。

当部門の売上高は2,545百万円（同35.8%減）、営業損失は46百万円（前年同期の営業利益は172百万円）となりました。

・化学品部門

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売並びに輸出関連の販売は、コロナ禍による工場の操業停止の影響によるケミカルの使用量の減少と輸出用ケミカル及び研磨剤の販売減少と前年同期にありました大型設備の受注がなかったことにより減収減益となりました。

当部門の売上高は1,106百万円（同36.4%減）、営業損失は39百万円（前年同期の営業利益は76百万円）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材は、国内では主要自動車メーカーの工場操業停止により大幅に減収となりました。家電用防音材の製造販売は2020年3月までの東南アジアでは新型コロナウイルスの影響は限定的でありましたが、中国や新興国において外出自粛や移動制限による経済活動の停滞から減収となりました。

当部門の売上高は2,956百万円（同30.8%減）、営業損失は4百万円（前年同期の営業利益は298百万円）となりました。

・化工品部門

国内外のファインケミカルの製造販売は5G関連の需要の高まりを背景に好調に推移しましたが、国内カーケアケミカルは、消費マインドの冷え込みにより減少となり、減収減益となりました。

当部門の売上高は1,030百万円（同1.6%減）、営業利益は101百万円（同14.5%減）となりました。

・その他部門

中国とロシア貿易の輸出入は営業活動が制限され、低調に推移しました。

当部門の売上高は340百万円（同37.2%減）、営業利益は28百万円（同35.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,833百万円減少し、48,413百万円となりました。主な要因は、保有株式の時価の上昇による投資有価証券の増加（208百万円）がありましたが、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金の減少（2,773百万円）によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ2,130百万円減少し、16,328百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（1,769百万円）、短期借入金の減少（276百万円）、支給に伴う賞与引当金の減少（178百万円）によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ702百万円減少し、32,084百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（136百万円）がありましたが、為替換算調整勘定の減少（376百万円）、利益剰余金の減少（340百万円）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の収束が依然として見通せない中、5月の緊急事態宣言解除後は世界各国において経済活動が徐々に再開されているものの、当社の主力の取引先である自動車業界や電気産業におきましても本感染症の影響を大きく受けております。当社グループにおきまして、想定より国内外の消費の回復の足取りは鈍く、当社の営業活動も制限され、受注減少や輸出の減少等が予想されることから、2020年5月12日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を修正いたします。詳しくは本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,061	12,003
受取手形及び売掛金	11,743	8,970
商品及び製品	3,191	3,013
仕掛品	365	366
原材料及び貯蔵品	1,423	1,423
その他	1,033	1,465
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	29,811	27,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,864	9,000
減価償却累計額	△5,374	△5,381
建物及び構築物(純額)	3,490	3,618
機械装置及び運搬具	7,884	7,713
減価償却累計額	△5,865	△5,827
機械装置及び運搬具(純額)	2,019	1,885
土地	6,236	6,195
リース資産	561	969
減価償却累計額	△317	△289
リース資産(純額)	243	680
建設仮勘定	1,022	346
その他	3,723	3,704
減価償却累計額	△3,123	△3,126
その他(純額)	600	578
有形固定資産合計	13,613	13,304
無形固定資産		
借地権	115	112
その他	436	406
無形固定資産合計	552	519
投資その他の資産		
投資有価証券	5,219	5,428
長期貸付金	412	412
繰延税金資産	243	239
その他	1,481	1,366
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	7,269	7,357
固定資産合計	21,435	21,182
資産合計	51,246	48,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,350	5,580
短期借入金	2,326	2,050
1年内返済予定の長期借入金	909	909
リース債務	137	208
未払法人税等	451	196
賞与引当金	743	564
その他	1,802	1,611
流動負債合計	13,721	11,121
固定負債		
長期借入金	1,538	1,514
リース債務	126	537
繰延税金負債	1,216	1,305
役員退職慰労引当金	126	112
退職給付に係る負債	1,656	1,661
資産除去債務	16	17
その他	56	60
固定負債合計	4,737	5,207
負債合計	18,459	16,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,477	2,477
利益剰余金	23,272	22,931
自己株式	△318	△349
株主資本合計	27,632	27,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,663	2,799
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△62	△438
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	2,600	2,360
非支配株主持分	2,554	2,463
純資産合計	32,787	32,084
負債純資産合計	51,246	48,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,173	8,675
売上原価	9,182	6,564
売上総利益	2,990	2,110
販売費及び一般管理費	2,298	2,032
営業利益	692	78
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	41	39
持分法による投資利益	24	—
助成金収入	—	35
その他	29	34
営業外収益合計	103	117
営業外費用		
支払利息	10	9
持分法による投資損失	—	20
為替差損	15	120
その他	5	5
営業外費用合計	31	155
経常利益	764	40
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	767	41
法人税、住民税及び事業税	191	74
法人税等調整額	△4	26
法人税等合計	186	100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	580	△58
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	60
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	504	△119

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	580	△58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	157
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	187	△498
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△104	△34
その他の包括利益合計	△193	△374
四半期包括利益	387	△433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	△359
非支配株主に係る四半期包括利益	99	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当社グループは現時点では、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しております。

当第1四半期連結累計期間では本感染症の影響を受け業績に大きく影響しました。今後も本感染症は社会・経済に広範な影響を及ぼすことが予想されるものの、政府による緊急事態宣言解除を受けて経済活動は徐々に再開していることから、第2四半期より回復基調になると想定しております。繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損の判定等の会計上の見積りにつきましてはこの想定に基づき行っております。

なお、2020年3月末に実施した見積りから重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	609	3,963	1,738	4,273	1,047	11,632	541	12,173	-	12,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	39	22	2	1	76	211	287	△287	-
計	619	4,002	1,761	4,275	1,048	11,708	753	12,461	△287	12,173
セグメント利益又は損失 (△)	△18	172	76	298	118	647	44	692	-	692

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	696	2,545	1,106	2,956	1,030	8,335	340	8,675	-	8,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	29	10	1	0	43	132	175	△175	-
計	698	2,575	1,117	2,957	1,031	8,379	472	8,851	△175	8,675
セグメント利益又は損失 (△)	37	△46	△39	△4	101	49	28	78	-	78

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。